参市民と院選・

2019 安城市議選

日本共産党

現職・新人2名の予定候補を決定





日本共産党西三河地区委員会と同安城市委員会は、2019年４月に行われる安城市議会議員選挙に現職の宮川かねひこ議員と、新人の森下さちこ党市若者・女性対策室長の２名を擁立することを決定しました。

2007年以来、３期にわたって皆さんに押し上げていただいたふかや恵子議員は、今期をもって引退します。

日本共産党は、全国屈指の財政力をもつ安城市が、市民のくらしと福祉を守るとともに、市政が安倍内閣の悪政の防波堤になるよう全力でがんばります。

宮川かねひこ

プロフィール

★1947年豊田市生まれ
★66年豊田西高等学校卒業
★卒業後、日本国有鉄道（現ＪＲ東海）入社
★86年祥南小ＰＴＡ会長
★2003年安城市議会議員初当選、以後、４期連続当選

森下　さちこ

プロフィール

★1976年安城市生まれ
★安城中部小・北中を経て94年安城高等学校卒業
★1998年東海女子（現東海学院）大学を卒業
★2007年サンタクルス中央日本人会勤務
★2010年派遣会社勤務

森下さちこさんにお力添えを
市議会議員　ふかや恵子



皆さんに市議会に送っていただき、高齢者への宅配給食や学校図書館への司書配置、学校トイレの洋式化など、何度も何度も一般質問等で取り上げ、実現させることができました。　身近な問題を市民の目線で取り上げることができる森下さちこさんにバトンを引き継がせて下さい。

国政私物化の安倍内閣は退陣を！

森友・公文書改ざん、働き方データ・ねつ造、自衛隊日報・隠ぺい・・・

「安倍政権やめろ」の思いにこたえ
市民と野党の共闘に力をつくします

８億円値引きの森友疑惑の公文書改ざん、裁量労働制の拡大や残業代ゼロ制度など「働き方改革」をねらってのデータねつ造、危険な実態を示した自衛隊日報の隠ぺい等々、安倍内閣は、国民をあざむき、国政の私物化を強めています。

しかも、通常国会の会期を延長し、豪雨被害に対する災害対応より、刑法で禁じられている賭博を合法化する「カジノ実施法」や参議院選挙制度を自民党に都合のよい制度に変える「公職選挙法」改定の強行採決など、悪法の審議・採決を優先しています。

安倍内閣の退陣を求め、力を合わせましょう。日本共産党は、市民と野党の共闘に力をつくします。

来年の参議院選挙で日本共産党は、比例代表で７議席以上、選挙区で３議席以上をめざしてがんばります。



参議院議員
井上さとし



選挙区予定候補
すやま初美

制度解説

【参議院選挙は２回投票します】
★比例代表は「政党名」で投票
候補者名を書くこともできます
★選挙区は「候補者の名前」で投票

民主安城
No.１２９　［発行］日本共産党安城市委員会　TEL・FAX：75－2903
日本共産党と宮川かねひこ・ふかや恵子・森下さちこの活動を紹介します。
同　安城市議団ホームページアドレス　http://anjo.jcpweb.net/

6月市議会 市費負担は30.66億円(97％)に 名鉄は6,800万円減少（1億7,400万円⇒１億600万円）

―新安城駅改築などの工事協定に反対は日本共産党など4名のみ―

６月市議会に名鉄新安城駅の駅舎橋上化や付帯施設、自由通路などを整備するために、安城市と名古屋鉄道株式会社が「工事協定」を締結するための議案が提案されました。日本共産党は、一般質問や議案質疑などを通じ問題点をただすとともに、反対討論も行い、議案に反対しました。

質疑や討論もせず、ダンマリで賛成…自民系、トヨタ系、公明



名鉄新安城駅周辺のまちづくりで最大の懸案であった新安城駅１号踏切の渋滞解消には、何ら手をつけないまま、駅舎と地下通路のみを橋上化する、しかも費用のほとんどを安城市が負担する案が発表されて以来、日本共産党は議会で何度も追及したり、アンケートで市民のみなさんの声を聞き、それを届けるなどしてきました。

しかし、市長は「北の玄関口としてふさわしい駅にする」「財政状況が良いこの時期に市費を投入してでも改修する」として、計画をすすめてきました。

6月市議会には、名鉄が工事に着手するために必要な手続きである「工事協定の締結」議案が提出されました。

工事内容は、「自由通路及び付帯施設の整備」「橋上駅及び付帯施設の整備」「既存地下駅及び地下改築通路の閉鎖」で、協定額（安城市が負担する額）を30億6,600万円としています。この額は、市民１世帯当たり40,956円に匹敵します。

多額の市費を投入する一方で、名鉄の負担は１億600万円（3%）に過ぎず、これまで市が説明してきた１億7,400万円を6,800万円も下回っています。宮川議員が、この点を質したのに対し、「6,800万円は名鉄の宿舎整備費であり、先行して整備が完了している」と答弁。宮川議員は、「宿舎は取り壊す名鉄ビルの中にあり、駅舎改築とは関係ない。名鉄の負担を多く見せるために事業費に含めていたのではないか」と厳しく批判しました。

市の負担は、1世帯当たり41,000円にも！！

項　目	金額	市の負担	名鉄の負担
自由通路整備費	654	654	0
橋上駅舎整備費	2,518	2,412	106
合　計	3,172	3,066	106

単位：百万円

さらに議会最終日には、反対討論も行い、工事協定を締結することに反対しました。反対したのは、宮川・ふかや両議員と石川翼・永田議員の４名のみです。

自民系・トヨタ系・公明の議員は、質疑や討論をすることもなく賛成しました。

小中学校など普通教室にエアコン早期設置を!…日本共産党議員団が市長に申し入れ

宮川議員の一般質問

何とかして！！　９年もガマン 中部学校給食調理場の自動車騒音



中部学校給食調理場の隣接住民は、2009年に調理場が改築オープンして以来、車の騒音に悩まされてきました。環境推進課の調査でも、基準値の60デシしんあんじょうえきベルを超えています。

宮川議員は、「睡眠薬を飲んで寝ている」「調理場に面した雨戸は閉めっぱなし」「息子は夜勤があり、会社近くのアパートに引っ越した」など、住民の声を届け、「早急

全権利者から整備方針や減歩、清算金等の理解と納得を得る努力を！（南明治第三土地区画整理事業）

市が行った区画整理の意向調査結果は、地区の現状に「大変満足・まあまあ満足」が61％、「やや不満・大変不満」が15％であり、まちづくりの必要性を感じている住民は少数派です。このような地域だからこそ全権利者と面談し、整備方針や減歩等について理解と納得を得ることが区画整理事業実施の前提であると指摘しました。

ふかや議員の一般質問

認知症高齢者に対する支援として 個人賠償責任保険事業を！

認知症高齢者が、鉄道事故などにより第三者に損害を負わせる事例が起きています。このような損害に対応する賠償責任保険に、自治体が加入する事業が大府市などで始まっています。

ふかや議員は、認知症になっても住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、個人賠償責任保険事業に取り組むことを提案しました。

介護予防に取り組む自主クラブに 講師料助成などの支援を！

高齢者の健康づくり・介護予防を目的に、福祉センターを中心に健康講座が開催されたり、多くの自主クラブが活動しています。そのなかには講師料の支払いなどで現行会費の維持が困難な事例も起きています。「健幸」を標榜する市として、講師料の一部を助成するなど積極的支援を求めました。

